

第7章 参画機関連携会議およびME成果報告会

7.1 ME連携会議準備会議

平成27年5月8日に昨年までのコンソーシアム構成大学(長岡科学技術大学、岐阜大学、愛媛大学、山口大学、長崎大学)の中核的専門人材養成等の戦略的推進事業の実施担当者が集まって、平成27年度の事業計画について意見交換を実施した。

平成27年度の申請には、コンソーシアム関係の枠組みが無くなったことを受けて、各大学が個別に授業計画書を作成するのか、コンソーシアムに代わる枠組みで取り組むかの議論がなされた。

全国版のカリキュラムの作成やこの事業の発展を考えると、情報交換や連携した取り組みのための会議等が必要であるとの合意が得られた。この会議の名称を「ME連携会議」として次の2つの事業を行う。これに必要な事業費は各大学で事業計画に反映することになった。

①ME連携会議の設置

平成26年度までのコンソーシアムで議論した全国版および地域版カリキュラムの実施、全国展開に関する協議、情報交換を行う等の連携した取り組みにより効率的な運用を図る。8月、10月、2月に東京で開催する。

②MEシンポジウムの開催

成果の全国発信を目的に、東京にて200人規模のシンポジウムを開催する。ME連携会議の参画大学関係者および各機関での養成講座受講者による報告会とする。

7.2 平成27年度参画機関連携会議

(1)第1回参画機関連携会議

日時：平成27年9月8日 9:30~15:00

場所：岐阜大学工学部 多目的教育研究棟 T101

出席者

山口大学：吉武 勇 准教授、渡邊 学歩 准教授、宮本 圭介 助教

長岡技術科学大学：大塚 悟 教授、中村 健 助教

長崎大学：松田 浩 教授、森田 千尋 准教授、高橋 和雄 特任研究員、関 達也 事務職員

愛媛大学：森脇 亮 教授、竹田 正彦 教授、山下 祐一 教授、竹村 輝昭 チームリーダー

岐阜大学：沢田 和秀 教授、森本 博昭 教授、村岡 治道 特任准教授、熊田 素子 特定研究補佐員、曾我 宜之 特定研究補佐員、加藤 十良 特定研究補佐員

議事

- (1)各大学からの取り組みの報告
- (2)参画組織による連携協定について
- (3)シンポジウム開催について
- (4)国交省の民間資格について
- (5)国交省との連携について

(6)その他

内容

今年度から舞鶴高専が新規に加わることが紹介され、各5大学から今年度の実施計画内容の報告があり、その後、シンポジウムの日程、内容が議論された。次に、国交省の民間資格に関して、当初計画していた岐阜大学に法人を設立することを断念したとの報告があり、他大学が岐阜大学と絡んで民間資格を取得する方法について議論した。さらに、今年度から本事業にコンソーシアム事業がなくなったため、実質的な協定の締結、活動内容、組織について議論した。この組織により、国交省と連携して行くことが確認された。

(2)第2回参画機関連携会議

日 時：平成28年1月29日 9:00～11:00

場 所：TKP名古屋カンファレンスルーム1

出席者

山口大学：麻生 稔彦 教授、宮本 圭介 助教

長岡技術科学大学：大塚 悟 教授、丸山 久一 特任教授、小林 博実 技術員

長崎大学：松田 浩 教授、森田 千尋 准教授、高橋 和雄 特任研究員

愛媛大学：森脇 亮 教授、竹田 正彦 教授、山下 祐一 教授、全 邦釘 助教、
和田 和敬 課長、竹村 輝昭 チームリーダー

岐阜大学：六郷 恵哲 工学部長、沢田 和秀 教授、國枝 稔 教授、八嶋 厚教授、
大谷 具幸 准教授、森本 博昭 特任教授

議事

- (1)各大学からの報告
- (2)来年度以降の予算について
- (3)国交省の民間資格について
- (4)参画組織による協定について
- (5)その他

内容

5大学から今年度の実施内容の報告の後、来年度以降の予算についての報告があった。来年度予算は今年度より若干削減された程度で事業は継続され、平成29年度に関しても事業を継続できるよう文科省が調整を進めているとの報告があった。次に、国交省の民間資格について、岐阜大学は今年度申請中であり、長岡技術科学大学、愛媛大学、山口大学は申請に向けて準備を進めているとの報告があった。最後に、参画組織による協定の議題となり、協定を締結することに異論はなかったが、参加組織をどのようにするのか、大学なのか、運営協議会なのかの議論となり、次年度の申請時までに結論が出るように、今後、検討していくこととなった。その他として、岐阜大学より文部科学省の「職業実践育成プログラム(BP)」、厚生労働省の「専門実践教育訓練」の紹介があり、これらを使って受講料の助成が行えるシステムの説明があった。

7.3 ME 成果報告会

社会資本の維持管理手法が問われるなか、点検・診断・補修技術を有する土木技術者が全国的に不足している。岐阜大学をはじめ、長崎大学・山口大学・愛媛大学・長岡技術科学大学・舞鶴工業高等専門学校では、それぞれの地域で、高度な維持管理技術を身につけるための技術者養成講座を実施している。各大学における活動に関する情報を共有しながら地域のニーズに応えられる技術者の育成について考える場として、平成 28 年 1 月 29 日に名古屋において、コンソーシアムシンポジウム「続・安全な“みち”のために」が開催された。

また、それに先立ち、前日の 1 月 28 日には、各地で養成講座を修了された方々が集まり、「長崎道守、岐阜 ME、愛媛 ME、ME 新潟、山口 ME 修了生によるワークショップ」が開催され、記念講演や話題提供の後、各大学での活動報告と「継続していくための課題と準備、今後の進め方について」の活発な議論と発表がなされた。

1 月 28 日、29 日の 2 日間にわたるスケジュールは、以下のとおりである。

(1)長崎道守、岐阜 ME、愛媛 ME、ME 新潟、山口 ME 修了生によるワークショップ

日 時：平成 28 年 1 月 28 日 13:00～17:30

場 所：TKP 名古屋カンファレンスルーム 2

内 容

(1) 記念講演：『東日本大震災の今』について

刈谷建設株式会社 取締役次長 上野 裕矢 氏

(2) 話題提供：「岐阜県の ME 活用の取り組みについて」

岐阜県県土整備部道路維持課 道路管理企画監 奥田 雅之 氏

(3) 各大学による ME 活動報告

(4) ワークショップ テーマ 1：道守・ME の生かし方について

テーマ 2：道守・ME の PR について

(5) グループ発表「継続していくための課題と準備、今後の進め方について」

(6) その他



ワークショップ風景



各グループ代表者の発表

(2) 第 2 回参画機関連携会議

日 時：平成 28 年 1 月 29 日 9:00～11:00

場 所：TKP 名古屋カンファレンスルーム 1

内 容：前掲のため省略

(3) コンソーシアムシンポジウム「続・安全な“みち”のために」

日 時：平成 28 年 1 月 29 日 13：30～17：20

場 所：中電ホール

プログラム

- (1) 開会の言葉 岐阜大学工学部 工学部長 六郷 恵哲 氏
- (2) 来賓挨拶 文部科学省高等教育局専門教育課 課長補佐 辻 直人 氏
- (3) 話題提供 国土交通省中部地方整備局 道路部 地域道路調整官 宮内 秀弘 氏
- (4) 事業説明 岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター
センター長 沢田 和秀 氏
- (5) 事業報告「愛媛大学 ME 養成講座について」 愛媛大学大学院 教授 森脇 亮 氏
- (6) 基調講演「世界の未舗装道路を住民と直す～住民へのチャリティから
住民のビジネスへの転換～」 京都大学 教授 木村 亮 氏
- (7) ME・道守活動報告 五大学修了生代表
- (8) 講評 長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター
センター長 松田 浩 氏
- (9) 閉会の言葉 長岡技術科学大学 特任教授 丸山 久一 氏



岐阜大学沢田教授による事業説明



道守吉川國夫氏による活動報告



松田センター長の講評



報告会前の資料作成